

令和7年12月8日
指導室

令和7年度こうとう学びスタンダード定着度調査 結果報告について

1 調査の概要

(1) 目的

- 児童・生徒に確実に身に付けさせたい内容を明らかにし、すべての学校でその定着を目指す「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）」の定着状況を把握する。
- 各校でスタンダードを確実に推進し、さらにその内容の定着を徹底させるための授業改善を図る。

(2) 調査対象 ※特別支援学級（固定）の児童・生徒はそれぞれの状況に応じて実施

- 小学校及び義務教育学校（前期）第5学年児童 4,339人実施
- 中学校及び義務教育学校（後期）第2（7）学年生徒 2,783人実施

(3) 調査方法・内容

- 選択、短答及びアンケート形式による。
- 小学校及び義務教育学校（前期） ・学び方 ・体力 ・国語 ・算数 ・英語
- 中学校及び義務教育学校（後期） ・学び方 ・体力 ・国語 ・数学 ・英語

(4) 調査実施日 令和7年4月23日（水）

2 調査結果の概要

(1) 小学校及び義務教育学校（前期課程） 《結果報告書 P.10》

- スタンダード定着度調査結果「各教科の平均正答率」()内は昨年度からの増減

	国語	算数	英語
令和7年度	72.4% (+3.2%)	72.6% (+0.3%)	93.6% (+0.3%)
令和6年度	69.2%	72.3%	93.3%

- ・全ての領域で全国（参考値）を上回る結果だった。また昨年度の数値もすべての教科で上回る結果となった。
- ・国語では、「書くこと」の区平均正答率が58.6%、算数では「図形」の区平均正答率が67.8%となり、他領域に比べて正答率が低かった。

- アンケート結果 《結果報告書 P.31》 ()内は昨年度からの増減

	学校生活は 楽しいですか	自分には、よいところ があると思いますか	いじめは、どんな理由 があってもいけないこ とだと思いますか。
令和7年度	89.3% (+0.6%)	74.9% (+0.7%)	97.0% (+0.7%)
令和6年度	88.7%	74.2%	96.3%

- ・「学校生活は楽しいですか」の項目に肯定的に回答している児童の割合は、89.3%となり、令和6年度よりも0.6%高い結果となった。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」の項目に肯定的に回答している児童の割合は74.9%となり、令和6年度よりも0.7%高い結果となった。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に肯定的に回答している児童の割合は、97.0%となり、令和6年度よりも0.7%高い結果となった。

(2) 中学校及び義務教育学校（後期課程） 《結果報告書 P. 35》

○ スタンダード定着度調査結果「各教科の平均正答率」() 内は昨年度からの増減

	国語	数学	英語
令和7年度	66.4% (+0.1%)	60.4% (-5.4%)	59.2% (-9.2%)
令和6年度	66.3%	65.8%	68.4%

- ・教科全体の区平均正答率は、3教科すべての領域において全国（参考値）を上回る結果であった。昨年度と比較すると国語では昨年度の数値を上回る結果となった。
- ・国語では、「書くこと」の平均正答率が 59.1%、数学では「データの活用」で区平均正答率が 53.1%、英語では、「書くこと」で 55.4%となり、他領域に比べて正答率が低かった。

○ アンケート結果 《結果報告書 P. 56》() 内は昨年度からの増減

	学校生活は 楽しいですか	自分には、よいところ があると思いますか	いじめは、どんな理由 があってもいけないこ とだと思いますか。
令和7年度	90.8% (-0.1%)	67.6% (-2.9%)	93.6% (-1.2%)
令和6年度	90.9%	70.5%	94.8%

- ・「学校生活は楽しいですか」の項目に肯定的に回答している生徒の割合は、90.8%となり、令和6年度よりも 0.1%低い結果となった。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」の項目に肯定的に回答している生徒の割合は 67.6%となり、令和6年度よりも 2.9%低い結果となった。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に肯定的に回答している生徒の割合は、93.6%となり、令和6年度よりも 1.2%低い結果となった。

3 調査結果を生かした今後の改善

- 各校における授業スタイルの確立と実践
- タブレット端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現
- 主体的な学び、習得した知識の活用を促す授業改善
- スタンダード強化講師の効果的な活用
- 個に応じた支援の充実